

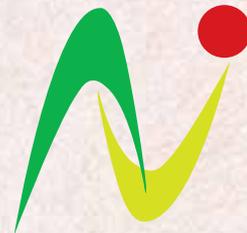
なかがわ

広報

2014. 6



町のイメージキャラクター
「なかちゃん」



No.105

- 社会保障と税の一体改革 2
- 経済センサス・商業統計調査実施のお知らせ 5
- 第12回 花の風まつり 7
- ホームステイウィークエンドin那珂川
小砂里山農業体験「棚田の田植えと交流会」 8
- 介護者の集まりに参加しませんか？ 12



美味しい空気と美しい自然の中で

小砂里山農業体験「棚田の田植えと交流会」

春季特別展 - 広重が見た江戸の名所 - 名所江戸百景展



第105回

歌川広重 (1797～1858) の大作「名所江戸百景」(大判119枚 版元：魚屋栄吉) は、安政3年2月から安政6年4月までの改印を持ちます。この作品は江戸の有名な場所や故事

旧跡などから選び制作していますが、一度にまとめて出版したわけではなく、年に数回、数点ずつ出版しました。名所江戸百景と画題で表しているのが当初100図制作する予定でしたが、実際は人気が出たために大判118枚を初代広重が制作し、続けて2代広重が1枚を制作しています。初代広重が長生きしていればさらに出版は続いていたでしょう。初代広重没後に119枚の作品を春夏秋冬に分けたのは梅素亭玄魚という当時のデザイナーでした。玄魚はその他にも「六十余州名所図絵」などの目録も制作しています。

この作品を制作する広重はどのような想いを込めて制作に取りかかったのでしょうか。通常、風景画を制作する場合画面を横向きにして描くのが一般的で、広重の作品も晩年を除くとほとんどが横絵です。広重が晩年縦絵に拘った理由は構図のマンネリ化の修正と新しい境地への挑戦ではないでしょうか。

晩年制作した代表的な縦絵は
「五十三次名所図絵」(安政2年)
「六十余州名所図絵」(嘉永6年～安政3年)
「富士三十六景」(安政5年)
「双筆五十三次」(三代豊国と合作、安政元年～2年)
などを挙げる事が出来ます。

名所江戸百景は、広角的なフレームを用いて近景から遠景まで俯瞰した構図の「深川洲崎十万坪」、「大はしあたけの夕立」や画面の中央に大きな梅樹の枝を配した「亀戸梅屋敷」、同様に橋の欄干に亀を紐で吊るした「深川万年橋」や棒手振の盤台を描いた「日本橋江戸ばし」など縦の構図の利点を最大限に利用して描いています。摺彫技法についても一文字ぼかし、拭きぼかし、たたきぼかしなど各場面に



名所江戸百景 浅草田甫西の町詣

応じて最も適した技法が用いられています。

図は新吉原の妓楼の二階から田甫の畦道を「鷲神社」に向かう集団が見えます。当時から「お酉様」の通称で江戸庶民に親しまれ、この神社は開運、出世、商売繁盛などの神様として信仰され、毎年11月の酉の日には祭礼が行われ、大変な人で賑わいました。

妓楼の部屋では白い猫が格子越しに外を見ています。畳の上には熊手の簪が置かれ、お客のお土産でしょう。富士山には雪が積もり真っ白な雪景色です。
馬頭広重美術館長 市川 信也

- 【会 期】 後期 6月22日(日)まで
【休 館 日】 月曜日、祝日の翌日
【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで
(但し入館は午後4時30分まで)
【入 館 料】 大人 700円(630円)
高・大学生 400円(360円)

※()は20名以上の団体料金。
※中学生以下は無料。
※障がい者手帳等をお持ちの方・付き添い1名は半額。

馬頭広重美術館で結婚記念の写真撮影



5月6日に、馬頭広重美術館で結婚式の前撮りが行われました。町内在住の鈴木さんご夫妻は、新緑の季節に馬頭広重美術館の素敵なロケーションで、ぜひ思い出に残る写真を撮りたいとの希望で、この日が実現しました。ゴールデンウィーク最終日の思わぬ花嫁・花婿の登場に、多くの来館者も足を止め祝福していました。

馬頭広重美術館では、今後もこのような取組みで、美術館の新たな魅力を発信したいと思っています。

